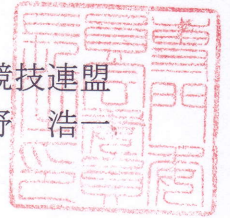


28日車連強発第109号
平成28年10月20日

各加盟団体 御中

(公財) 日本自転車競技連盟
選手強化委員長 中野 浩一



第1回チャレンジ・トラックの実施に伴う協力依頼について

秋冷の候 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととご推察申し上げます。
さて、これまでのオリンピックでの自転車競技は、1984年ロサンゼルス大会スプリント銅メダル、1996年アトランタ大会1kmTT銅メダル、2004年シドニー大会チームスプリント銀メダル、2008年北京大会ケイリン銅メダルとメダルを獲得してまいりました。

しかし、2012年ロンドン大会、2016年リオデジャネイロ大会とメダル獲得にはいたっておりません。

次回2020年にオリンピックが東京で開催されるに当たり、(公財)日本オリンピック委員会においてはメダル獲得ランキング第3位を目標に掲げており、本連盟といたしましても同大会でのメダル獲得を目指し、選手強化に取り組んでいるところであります。

そこで、メダル獲得の実現に向け現在2020年有望選手の発掘に努めており、その一環として国際大会で活躍するサイクリストの新しい人材発掘を目的に、12月17日(土)伊豆ベロドロームにおいて第1回チャレンジ・トラックを別添要項に基づき実施することになりました。

つきましては、各加盟団体におかれましては上記趣旨をご理解いただき、貴団体登録選手に対しご周知いただくとともにご協力方よろしくお願い申し上げます。

敬具